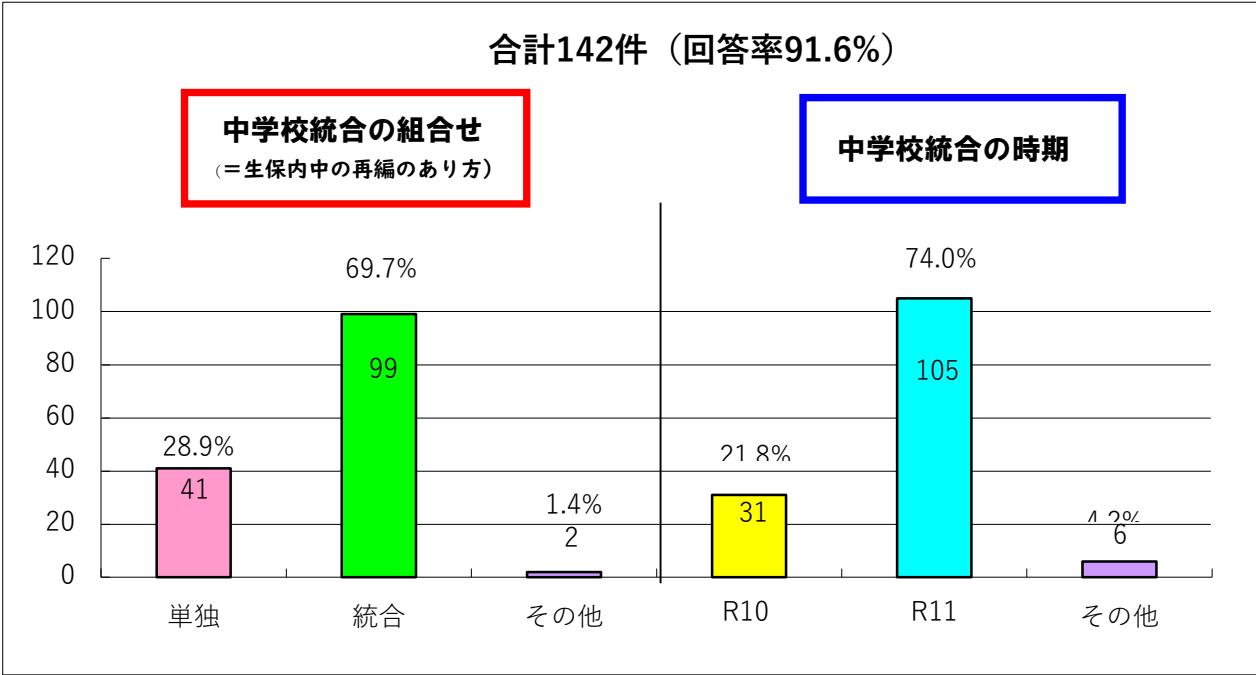


# 中学校統合の組合せ及び時期に関する 教職員アンケート結果（令和7年7月）

1 対象 仙北市小・中学校の教職員（155人）

2 設問 中学校の再編について、望ましいと思う方に○を付けてください。  
問1 生保内中の再編について  
「生中単独で存続」または「生中・神中・西中・桧中の4校で統合」  
問2 中学校統合の時期について  
「令和10年度」または「令和11年度」

3 結果 ⇒ 「4校で統合」「令和11年度」が全体の約7割



4 記述欄の要旨（主なもの）

|        |         |                                                                                                                      |
|--------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 統合の組合せ | 生中単独で存続 | ・通学面で、保護者や生徒の負担の増加、健康面への影響が心配。                                                                                       |
|        | 4校で統合   | ・学習意欲、人間関係、学級・学年経営の面でメリットが多い。<br>・行事や部活動など、ある程度の人数が必要である。<br>・多様性・切磋琢磨といった学びの環境面でプラスがある。<br>・一小一中になると、人間関係が固定化してしまう。 |
| 統合の時期  | 令和10年度  | ・小・中同時開校によって全教職員の意識や動きが統一される。<br>・小・中の足並みを揃えれば合同式典・閉校関連行事等もできる。                                                      |
|        | 令和11年度  | ・引越が一度で済む。校舎が変わるのは慌ただしく負担が増える。<br>・仮校舎から新校舎への移動は、予算面でも大きな負担となる。<br>・子どもたちのワクワク感は、新校舎の新しさから生まれる。                      |